

※ 今週のアウトLOOK(9/8～9/12)

先週は火曜日あたりからドル買いが少し進み、一度は149円台となりましたが、金曜日には米国雇用統計の非農業部門雇用者数の悪化を受けてドル売りが進みました。上昇した分だけ戻されよう形となり、ドル円は週初めとあまり変わらない状況です。

今週は米国雇用統計悪化の影響がどの程度広がるかを、まずは見極める必要があります。9月のFOMCでは利下げが既に織り込まれているため、それほどのサプライズではなさそうです。

先週ドル円は、火曜日から上昇して一度は149円台まで上昇したものの、金曜日の米国雇用統計の悪化を受けて147円台前半まで下落しました。週足ベースでみるとあまり変化はありません。

今週は、米国雇用統計悪化の影響がどこまで広がるかを見極める必要がありますが、あまりサプライズにはなっていない印象です。

しばらくは大きくは動かない可能性が高いかもしれません。

ドル円の予想レンジは145円から149円です。

ユーロドルは相変わらず1.17から1.18付近のレジスタンスに阻まれている状況です。今週あたりブレイクできなければ、1.14付近まで一度後退する可能性が高まりそうです。

ユーロ円も174円付近のレジスタンスで足踏み状態が続いています。こちらも一度170円付近まで後退する可能性が高まってきているようにも思います。

ユーロ円の予想レンジは169円から175円です。

ポンド円も200円付近のレジスタンスに相変わらず苦戦しています。今週あたりが正念場となる可能性が高いかもしれません。今週、来週あたりで195円付近まで一度後退する可能性は、6割程度と考えています。

ポンド円の予想レンジは195円から200円です。

NYダウは米国雇用統計の悪化を受けて金曜日は下落しましたが、再び46,000ドル付近のレジスタンスブレイクを狙う可能性は十分にありそうです。

* 免責事項 *

当レポートを参考にトレードを行い、損失が生じた場合でも、責任は負いかねますのでご了承ください。